

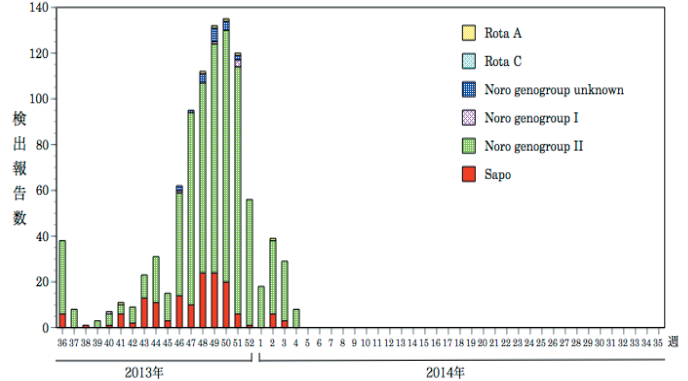
感染性胃腸炎の流行状況と消毒法について

全国の感染性胃腸炎の流行状況

国立感染症研究所は、例年12月中頃にピークが見られる感染性胃腸炎(原因ウイルスとしてノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス)について、今シーズンのウイルス検出数を報告しています。

2013年第36週(9/2)から2014年第4週(1/26)の間に全国の感染性胃腸炎患者から検出されたウイルスは、頻度の高い順にノロウイルス(83%)、サポウイルス(16%)、ロタウイルス(0.6%)で、中でも圧倒的なものがノロウイルスGIIと呼ばれるウイルスです。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2013/14シーズン
(病原微生物検出情報：2014年1月30日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

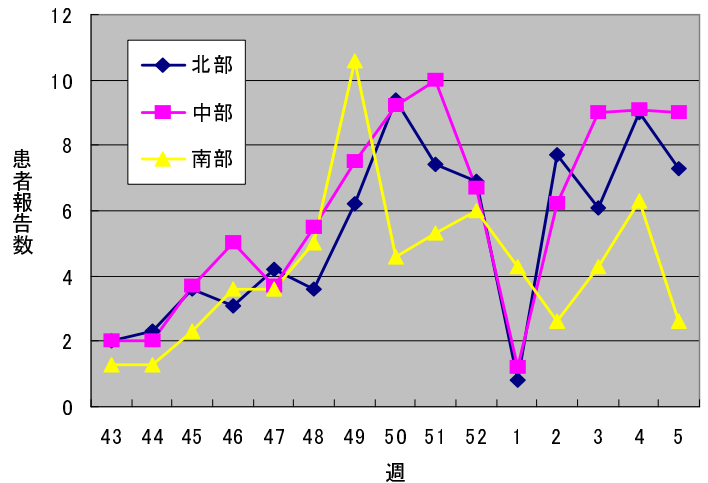


奈良県の流行状況

県内の34定点医療機関あたりの患者報告数の推移を表しますと、北部、中部、南部ともに11月(第45週)に入り急激な増加がみられ、北部、中部では第50-51週(12/9-16)がピークであったと思われ、いずれも未だ高いレベルを維持しています。一方、南部では第49週の10.0人を除けば、全体的に緩やかな増加で第5週には2.6人と昨年の45週程度までの減少がみられています。

これまでの幼稚園、小中学校、養護老人施設などの集団感染の原因ウイルス検査では、13施設がノロウイルス(GII/2,3,4,5,6,14,17、GI/6)、1施設がサポウイルスでした。

今後も感染性胃腸炎の流行が維持される可能性があります。手洗いの徹底や糞便・汚物の適切な処理には注意が必要です。



ノロウイルスの消毒法

- このウイルスに効果のある抗ウイルス剤、ワクチンはありません。
- 食事前やトイレの後には、**石鹼**を使ってしっかり手を洗ってください。
- ウイルスは環境中でも安定なので汚染された水や食物を介しても感染します。
- 下痢便、嘔吐物への直接消毒には、市販の**塩素系漂白剤**(キッチンハイターなどの次亜塩素酸ナトリウム)なら**50倍(約1000ppm)**に水道水で薄めて**10分程度**浸すと有効です。**処理には必ず手袋、マスクを着用**することです。***1000ppmは0.1%です。**
- トイレの便座などの消毒は、**250倍(約200ppm)**に薄め、スプレーに入れれば便利です。床や取っ手などは、消毒後に布などでふき取って下さい。
- 調理器具、衣類、タオルなどは**熱湯(85度以上)**で**1分以上**の加熱が有効です。

